



■喜観舎(きかんしゃ)

鳴子温泉駅構内の休憩スポット

JR鳴子温泉駅の2階にある待合室。地域住民から寄付された本が並ぶミニ図書館にもなっている。旅館の女将さん手作りの椅子カバーも可愛い。休日にはボランティアガイドのみなさんが、ドリンクをふるまうことも!

- 住所 / 大崎市鳴子温泉字湯元2-2
- 問合せ先 / 0229-83-3441(鳴子観光・旅館案内センター)
- 営業時間 / 9:00~16:00 ■休 / 無休

■西條菓子舗 駅前店(さいじょうかしほ)

湯めぐりのお供にぴったりサイズ!

昔ながらの蒸し器でふくらと蒸しあげた小粒な「鳴子まんじゅう」(1個・65円、8個・620円、15個・1,080円)。もっちりとした皮の中には、程よい甘さのこしあんがたっぷり。ふかしたてを味わいたいなら、開店時間直後にお店へ!

- 住所 / 大崎市鳴子温泉字湯元2-3
- 電話 / 0229-83-2139
- 営業時間 / 9:00~18:00
- 休 / 無休



■準喫茶 カガモク(じゅんきつさ かかもく)

こけしを愛でながらほっと一息。木工が趣味という店主が手掛けたこけし風の木工作品が、いたるところから顔をのぞかせる「準」喫茶。奥様手作りの「こけしドーナツ」(200円)は、有機栽培のコーヒー豆を使った「自家焙煎コーヒー」(380円)と相性抜群。



- 住所 / 大崎市鳴子温泉字川渡49 ■電話 / 070-5540-7150
- 営業時間 / 10:00~16:00 ■営 / 金・土・日曜のみ営業 ※臨時休業あり



■餅処 深瀬(ふかせ)

お土産にも喜ばれる鳴子温泉名物

名物「栗だんご」(2個・360円、5個・756円)は、店内で作りたてを食べることもできる。岩出山の「ふるさと地鶏の会」の有精卵を使った焼き菓子「四季の鳴子レーヌ」は、和栗(324円)、伊達なゆず×チョコ、栗駒の天然ハチミツ×レモン(各270円)の3種類。

- 住所 / 大崎市鳴子温泉字湯元24-2 ■電話 / 0229-83-2146
- 営業時間 / 8:00~19:00 ※売切れ次第終了 ■休 / 元旦、不定休
- HP / <http://mochidokoro-fukase.jimdo.com/>

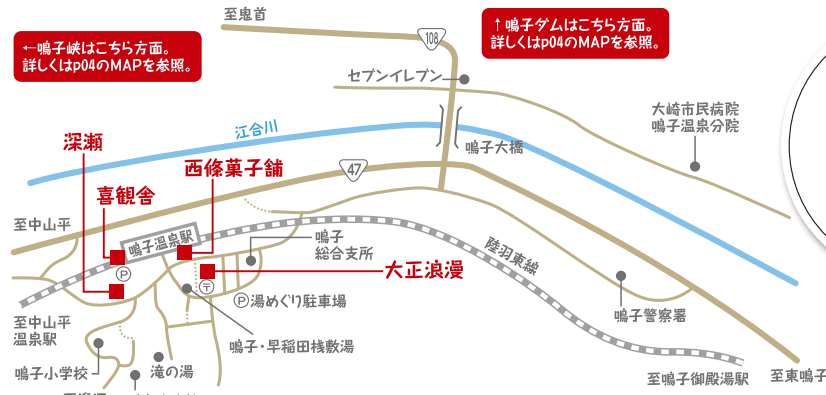


■大正浪漫(たいしょうまん)

老舗旅館をカフェにリノベーション

和モダンなカフェで味わえるのは、鳴子のおいしい水とジャージー牛乳でつくる「かき水」(800円)。粉雪のようなふんわり食感で人気を集めている。鳴子産ブルーベリーのソースをかけた「ジャージー牛乳ソフトクリーム」(500円)もおすすめ。

- 住所 / 大崎市鳴子温泉字新屋敷126
- 電話 / 0229-83-3280
- 営業時間 / 10:00~16:00(夏期~17:00)
- 休 / 不定休



↑鳴子ダムはこちら方面。詳しくはp04のMAPを参照。
→準喫茶カガモクはこちら方面。詳しくはp04のMAPを参照。



■鳴子峡(なるこぎょう)

雄大な景色と、鮮やかな四季の美しさに彩られる大渓谷。高さ100mほどの断崖絶壁が約2.6kmに渡って続く。見晴らし合からは、季節ごとに新緑、紅葉と美しい渓谷美が楽しめる。10月下旬から11月上旬が紅葉の見頃。周囲の木々が赤や黄色で彩られる。展望台も整備されており、様々な景色が楽しめる。鳴子峡遊歩道は一部区間開放(中山平側入口から回顧橋まで)。片道350m、下り10分、上り20分、往復30分。ただし、11月下旬~4月下旬は閉鎖。

- 住所 / 大崎市鳴子温泉字尿前地内
- 電話 / 0229-83-3441(鳴子観光・旅館案内センター)



■鳴子ダム(なるこだむ)

「選奨土木遺産」に認定!

日本人技術者だけで建設した日本初の本格的100m級アーチ式コンクリートダムであることから、2016年に東北管内のダムでは初めて「選奨土木遺産」に認定。ダム天端や展望テラスから眺めるダム湖の風景は壮観!

- 住所 / 大崎市鳴子温泉字岩淵2-8
- 電話 / 0229-82-2341(鳴子ダム管理所)
- HP / <http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/>

大崎市 エリアガイド



鳴子温泉 エリア

NARUKO ONSEN AREA

湯量と泉質が豊富な温泉地。環境省指定の「国民保養温泉地」でもある。土木遺産に認定された「鳴子ダム」や伝統工芸品「鳴子こけし」「鳴子漆器」も有名。